

# ENOKI

えのき

第5回

10月28日(日)  
10時~16時

えのきのお祭り!  
センターに集まろう!

## 榎町地域 センター まつり

### 4F 多目的ホール

- 小学生  
太鼓演奏・合唱  
ジャズダンス
- 登録団体  
コーラス・ダンス・舞踊など
- ビンゴゲーム



### 3F

- 喫茶サロン
- 昔のあそび・今のアそび
- ペーゴマ・剣玉
- バルーンアート・粘土の型あそび
- でんごちゃんのマジックプレートづくり
- ゴミ減量クイズ



### 2F

- 茶席
- 指圧体験
- 防災グッズコーナー
- パネル展示  
明るい選挙・漱石山房・日赤
- えひめAI-1配布



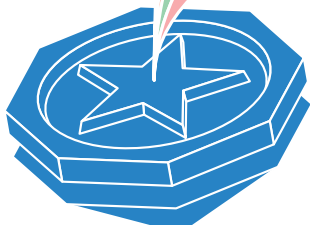
### 1F 玄関・駐車場・駐輪場

- 受付
- 起震車体験
- 包丁とぎ
- 鉢植販売
- 野菜販売
- 伊那市高遠町物産販売
- 中古自転車の抽選販売



### B1

- 休憩所
- 模擬店  
焼そば・ソフトドリンクほか
- あそびコーナー  
ダーツ



日 時・・・平成19年10月28日(日)  
10時~16時  
会 場・・・榎町地域センター(早稲田町85番地)  
主 催・・・榎町地域センター管理運営委員会  
問合せ・・・管理運営事務局 TEL3202-8585

\*駐輪・駐車スペースはありません。  
自転車・車でのご来場はご遠慮ください。  
\*当日は会場及び会場周辺での喫煙はできません。



# 孤独死対策は切実な課題

ぬくもりある複地区！

「孤独死」という言葉の明確な定義はありませんが、一般的には家族など見守る人がいなく、お亡くなりになってからしばらく発見されない場合のことを言います。

最近、高齢者の「孤独死」がたびたび報道されるようになりました。新宿区の生活福祉課が把握している近年の孤独死数は、年間約60人から70人です。

日常的に、家族や近隣との人間関係がある場合には、孤独死に陥る可能性は低いと言われます。新宿区は、「週間ごとに見守る人がいない高齢者、または高齢者のみ世帯の高齢者」を対象に、孤独死対策を講じています。

その二つに、75歳以上の単身世帯（新宿区内の約二万七千七百世帯）に毎月1日と15日の月2回、高齢者の方の生活に身近な話題を読みやすく、分かりやすく紹介する情報誌「ぬくもりだより」を発行しています。

6月15日に、第1号が発行されました。これは、近隣の民生委員の方が居住実態調査を兼ねて、配布対象者に届けました。

「ぬくもりだより」を単身高齢者世帯のご自宅に届けることにより、「見守り」「孤独死の防止及び発見」に努めます。地域の皆さんも、民生委員の方に、いろいろな情報を提供したり、励ましの言葉を掛けてくださるようお願いいたします。

## ■全国・東京都・新宿区の一人暮らしの方の割合 17年国勢調査第一次基本集計より(%)

	全年齢	65歳以上	75歳以上
全国	11.3	15.1	17.0
東京都	19.4	21.7	25.3
新宿区	32.4	30.4	33.0

新宿区の場合、65歳以上の方10人に3人は一人暮らしです。

# 百歳以上の高齢者の方々 長寿おめでと〜いございます

新宿区内には、百歳以上の方が70名（男性15名・女性55名）いらっしゃいます。最高齢者は、男性で百七歳の方です。複地区には百歳以上の方は別表のように13名いらっしゃいます。

百歳以上の方には、新宿区長がお宅を訪問し、祝い金と祝い品を贈呈します。9月7日、区長が市谷薬王寺町の岩田よしさん（百歳）を訪ねました。

同居している長女の江木和子さんが「母は、新宿生まれで、新宿育ちです。師範学校を卒業し、少し先生をやりましたが、薬学専門学校に入り直し、薬剤師の免許を取りました。薬剤師なので、飲む薬は吟味しています。祖母も百歳近く生きた人で、長寿の家系です。

祖母は、バランスの良い食事を強く心がけていました。好きな食べ物はお刺身・果物・グラタンなどでした」と、よしさんとおばあさんについて話してくれました。



複地区 100歳以上 年齢別人数	100歳	7名	103歳	1名
	101歳	1名	104歳	1名
	102歳	3名	計	13名

# 参加してみませんか？ 「しんじゅへの介護予防教室」

区では「いつまでも元気でイキイキと！」をキャッチフレーズにさまざまな介護予防教室を行っています。「最近つまずきやすくなった」「体を動かすが面倒」などの症状は、運動機能の低下が原因の場合が多いものです。

区では、普段使わないことで眠っている筋肉を目覚めさせて刺激を与えていくことで、日常生活の動作がスムーズにできるよう、筋肉を復活させる教室を開催しています。半信半疑で教室に参加した方の多くが、「階段の昇り降りが楽になった」「歩くのが楽しくなった」など、その効果を実感されています。

なお、教室には運動指導の専門家や看護師がいますので、安心してご参加ください。

65歳以上で介護保険の認定を受けていない方は、次の5つの質問に答えていただき、3つ以上「はい」がある場合は、左記までお問い合わせください。元気な若返りをお約束します。

- ① 階段を昇るときに、手すりや壁を使うことがある
- ② 椅子から立ち上がるとき何かにつかまることがある
- ③ 15分歩くときは途中で少し立ち止まることがある
- ④ 1年以内に転んだことがある
- ⑤ 転倒に対する不安が大きい



若返りパワーアップ体操教室  
(東京都健康プラザハイジア)に  
参加の皆さん

問合せ 原町ホーム  
地域包括支援センター  
TEL5367-6737



子どもの安全を守る防犯の取組Ⅲ

早稲田小  
PTA  
防犯パトロール



今年7月、早稲田地区で、30歳くらいの男性から、児童がキスをされると言う事件が3週連続で発生しました。犯人は捕まりましたのでご安心ください。

地域の力で、子供たちの安全を守ることはとても大事なことです。今回は、早稲田小学校PTAの取り組みをレポートしました。

早稲田小学校PTAが、校外指導委員の仕事の二つとして、本格的に防犯パトロールの活動を始めたのは昨年の11月でした。

昨年の一学期、牛込警察署の指導の下、数カ月間の検討を重ねた結果、秋からスタートし、そろそろ二年を迎えようとしています。

一カ月の巡回は、通学範囲を4つの区域に分け、1つの区域を違った経路で2回パトロールしますので、計8回はパトロールできるようになっています。

時間、曜日もそれぞれの都合のため、パトロールする側も無理なく続けられる体制ができました。

そして、パトロールをしていると普段は気にならない公園や駐車場の死角もたくさんあることに気が付きました。

パトロール日誌には「暗くなるならないうちに早く帰ろうね」「ここは危ないから、気を付けようね。」「等、母ならではの暖かい言葉を掛けることがしばしばあると、綴られています。

公園や掲示板の古くなった防犯の張り紙の張り替えや、放置されて危険と思われる大きなゴミも区役所に連絡をして撤去の依頼をするなど、不審者を見回ることにとどまらず、目に見えない地道な作業も行っており、頭の下がる思いです。

今後のパトロールにも事故等に気を付け、子どもたちの安全のために、どっか、よろしく願っています。

安心・安全のまち

防犯重点地区

ボランティアアグルーの活動



榎地区青少年育成委員会

黒川孔晴

榎地区青少年育成委員会では、盆踊りやお祭りの際にその会場を中心として近隣の公園、暗い夜道などのパトロールをしています。

パトロールの中で、公園で花火をしている子どもたちには花火禁止の場所であることを教え、近隣の迷惑にならないように、また火の始末をきちんとするように注意を促し、後の見回りを警察にお願いしています。

また、夜の公園で集団で楽しんでいる中学生たちには、夜は遅くなるほど危険であることを伝え、早い帰宅を促します。

また、日ごろから地域の子どもたちとのコミュニケーションを大切にして、子どもたちに危険や犯罪被害が及ばないように見守っています。



榎地区の申請団体紹介(平成19年9月1日現在)

★重点地区指定団体

早稲田南町会・天神町町会・鶴巻町南町会・原町一丁目町会  
原町二丁目町会・牛込仲之小学校PTA

★防犯ボランティアグループ

馬場下町町会・榎地区青少年育成委員会

鶴巻小学校の

「放課後子どもひろば」

「放課後子どもひろば」をご存知ですか？放課後や長期休業中に、学校施設を活用して子どもたちに遊びと学びの場をつくるという目的で、今年6月から区内の小中学校で始まった事業です。

現在は区内6小中学校で実施されており、榎地区で唯一実施校になっている鶴巻小学校では、放課後でも毎日子どもたちの元気な声が響いています。

事前に登録すると放課後は5時まで、長期休業中は10時から5時まで(11月～1月は4時半まで)、いつでも学校で遊ぶことができます(土・日・祝日、年末年始は休み)。

一度帰宅してから遊びに来ることはもちろん、当日の朝、印を押したカードをお子さんに持たせれば、フンドセルのまま学校で遊ぶこともできます。

また、活動室や校庭では5人のスタッフが子どもたちを見守ってくださるので安心です。参加登録は鶴巻小学校3階の「鶴巻ルーム」で随時受け付けています。保険料年額200円と印鑑をお持ちください。区内在住の国公私立小学生が登録できます。





えのき  
家族の肖像

古川さんご一家 野田屋酒店

早大通りにお店を構える野田屋酒店さんの創業は昭和5年。ご主人の古川義春さん(75歳)の先代が醤油と味噌を売るお店を開業して以来、昭和14年からはお酒も売るようになり、77年を経た現在は鶴巻町の老舗となりました。戦時中は塩や味噌も配給制となり、店でも割り当ての確保に苦労する中、義春さんは遠い津田沼から店まで、塩を積んだ重たいリヤカーを引いてくることもあったそうです。



「私は商売が大好き。商家に嫁ぐのが夢だったの。新婚旅行から帰った翌日からお店に出だし、軽トラックを運転して配達するのも苦ではなかった。主人も働き者で舅・小姑からは『大家族の家に、よくぞ嫁に来てくれた』と言われ、とても大事にされたの」と、明るく語るのは、奥さんの沙智子さん。

古川さんご一家は現在も大家族で暮らしています。ご夫婦には3人の娘さんがいて、お孫さんは2歳から中学三年生までの7人。一家が揃うと15人になります。

お店にはいつも幾人かのお孫さんがいて賑やかです。「今日、学校はどうだった？宿題は？」と声をかける沙智子さん。子育ては今も続いています。

沙智子さんの楽しみは、休日に三人の娘さんたちと歌舞伎やオペラに行くこと。「私の子どもは女の子ばかりでも長女には双子の男の子が授かった。長く生きていると人生のさまざまなおの帳尻が合うような思いがある。いつでも家族と一緒にいられる私は本当に幸せ」と、満面の笑顔を見せてくれました。

長女と三女の娘さんはお店を手伝っています。長女の智恵子さんにはすでに店主の風格が備わり、日本酒からビール、ワインに至るまで、お酒に関する質問には何でも答えてくれます。「お酒の知識を深め、お客様のニーズに合わせてあげられることがいざばんのサービスだと思つ」と言います。

お薦めは当店のオリジナルブランド焼酎「わせた魂」と「地ビール早稲田」。本格的な製法による地ビールの味わいは深く、最近は贈答品としての人気も高まってきているそうです。



ホームページ <http://www.nodaya-sake.co.jp> E-mail [shop@nodaya-sake.co.jp](mailto:shop@nodaya-sake.co.jp)

エイサークラブ  
早稲田南町こども館

早稲田南町こども館の「エイサークラブ」を紹介します。このクラブは昨年6月に発足、石垣島出身の先生の指導の下、初年度は小学・二年生13名で頑張りました。エイサーは沖繩の伝統的な踊りです。パーランクーという木枠に牛革を張った小さな太鼓をばちで打ち鳴らしながら踊り歩きます。パーランクーは小さいながら大きな音で響きます。

クラブではオリジナルの振り付けをプラスし、楽しいエイサーにして踊っています。練習は月に3回程しかありませんが、子どもたちは毎日家で練習しているそうです。その成果を、今年2月の「わくわくフェスティバル」や「福祉まつり」等の地域イベントに出演して披露し、盛大な拍手をいただきました。

太鼓の迫力と沖繩のリズムに魅せられた子どもたちの踊る姿は、太鼓の響きに負けないくらい大きく見えます。

「イヤ・イヤ・サーサー・ハイヤー」の掛け声とパーランクーの音がこども館に響きます。見ているだけで自然に体が動き、一緒に踊りたくなります。

子どもたちは日本の伝統芸能を、楽しみながら体得し、継承していきます。頑張れ「エイサークラブ」！  
10月28日(日)の「榎町地域センターまつり」に出演します。ぜひ観にきてください。



エイサークラブ

問合せ 早稲田南町こども館  
TEL5287-4321



# 日本人の心を癒す畳 畳の上手な使い方

明治時代から続く豊島畳店を訪ね、畳についてお話を伺いました。

章さんは三代目で、息子さんが後を継がれるということですので、日本古来の伝統が継承され、ほっとしました。

熟練を要する畳作りの技を習得し、一人前の畳職人になるのに必要な年数は、人によって差はありますが、今は機械が導入され、手仕事が少ないので、5年ほどあればいいことです。

私たちの住生活は時代の変遷と共に変化し、かつての木造住宅はコンクリートのマンションになり、それにつれて畳の部屋は激減し、フローリングの部屋が目立つようになりました。必然的に畳屋さんの数は減り、牛込地区ではかつての半分の7店舗になったそうです。

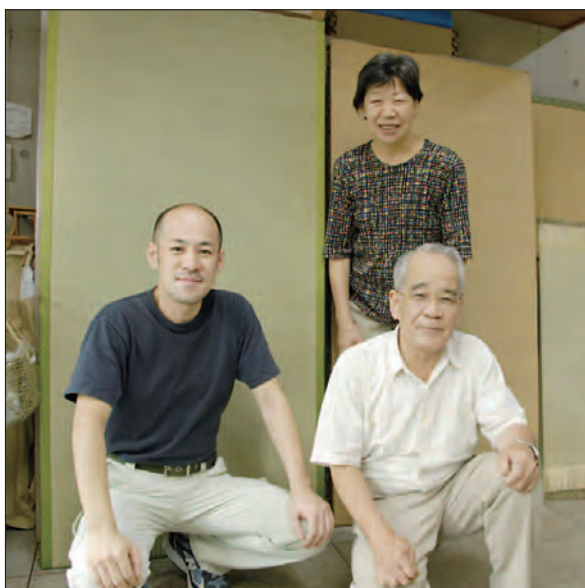
畳は畳表(たたみおもて)となる「ザ」と土台になる床(トコ)、そして表面の角(端部)に縫い付けれる縁(ヘリ)から成り立っています。「ザの素材は「いぐさ」で、以前は備前表、備後表と呼ばれ、広島県が代表的な産地でした。最近では熊本県産、大分県産が多くなっているそうです。



床は良質のわらを縦横に編んだものを圧搾して、麻糸で重ね締めしたものです。

畳が床二面に敷きつめられるようになったのは室町時代からですが、それまでは、人の座るところだけに敷かれていました。広く普及し、庶民の住居に敷きつめて使われるようになったのは、江戸時代以降になつてからのことです。

天然の「いぐさ」から作られる畳はやさしい生活環境をつくり、気温・湿度などの点で日本固有の風土や、日本人の生活様式に適しています。従って今後も絶えることなく床材として採用され、私たちの生活を支えてくれることでしょう。



▲ 弁天町で畳店を営む豊島章さんと奥さんの登美子さんと息子さんの章一さん

## 知ってお得 畳の豆知識

☆畳は絶えず吸湿・放湿作用をしています。部屋の風通しを良くすることが畳を長持ちさせる秘訣です。

☆畳の掃除は電気掃除機でまめにし、時々固く絞ったぞうきんでふきます(または空ぶき)。

☆畳の上にカーペット等を重ね敷きするとホコリが貯まりやすく、ダニが発生しやすくなります。

☆畳の寸法には二種類あります。

西日本では1・000X0・950で京間と呼び、東日本では1・740X0・870で田舎間(江戸間)と呼びます。

## 子どもたちの活躍レポート

# サッカー-韓国遠征

## FC早稲田の谷中君と片岡君



今年も、早稲田町に住む新宿サッカー協会の夏山会長を団長として、新宿少年サッカーの子どもたち37人が韓国遠征に行ってきました。地域のサッカークラブFC早稲田からも、難関の選抜を突破し、5年生の片岡真暉君と谷中伸宇君の2人が選ばれました。選手達は、韓国の子どもたちの歓迎を受け、親善交流試合に出場しました。

谷中伸宇君の韓国遠征レポートです。

僕たちは8月4日、新宿区代表の韓国遠征の選手として韓国へ出発しました。FC早稲田以外のチームからもたくさんの子どもたちが参加しました。韓国では、最初に試合会場の江南地区小学校で試合をしました。

韓国の子どもたちは強そつに見えたけれど、試合をやってみると思つたより楽に勝ち続けました。

特に僕が気に入つたのはハレルヤの歓迎会、焼き肉店での夕食です。おいしかったからたくさん食べました。ソウルランドという遊園地では90度に回るコーヒーカープにも乗り、スリルがあつてすごく楽しかったです。僕が良かったと思うことは、韓国や日本の友達がたくさんできたことです。「カムサムニダ(ありがとう)ございます(もちゃんと言えるようになります)になりました。

片岡君の感想は「韓国は初めてでした。韓国の子どもたちと試合をして、相当あたりが強いと感じました。食べ物、ご飯(白米)がとてもおいしかったです。」



## 防災訓練と避難所の設備

8月26日(日)に開催した、鶴巻四町会合同による防災訓練に、早朝にも関わらず、百八十名以上の方々が参加されました。

午前の部は「鶴巻小学校避難所運営管理協議会」の訓練として、避難所の設備見学(仮設トイレ、備蓄倉庫)、救急救命及びAED訓練、防災ビデオ上映等が行われました。新潟県中越沖地震をはじめ頻発する災害の影響が大勢の皆さんの関心を集めました。

昼の休憩後、午後1時より、四町会防災部と今年は消防団による「小型消防ポンプ操作訓練」模範演技があり、最後のどじょうつかみでは、久しぶりに大勢の子どもたちの歓声を聞くことができました。長い一日でしたが大変、有意義であったと思います。



▲備蓄倉庫



▲AED(自動体外式除細動器)

次に「鶴巻小学校避難所運営管理協議会」マニュアルと設備等について紹介します。

### ◇避難所運営管理マニュアル

大地震が発生した場合、直ちに区の職員が駆けつけられるとは限りません。また、職員数も十分とは限りません。そこで、皆さんが自主的に避難所の運営管理ができるようにこのマニュアルは作られました。

### ◇避難所の運営作業

- ・庶務、情報連絡部
- ・施設の安全点検、避難者の収容、情報の収集等、9項目
- ・物資供給部
- ・飲料水・生活用水の確保、物資・食料の確保、配給、炊出し等、4項目

### ◇備蓄倉庫の物資

食料の確保のため、避難所備蓄倉庫には避難所での生活を維持するための給水用資機材、食料品、給食用資機材、調理用火器、照明用資材、発電用資機材、トイレ用資機材、衛生用品、避難生活用資材、医療救護用資機材、動物救護用資機材など、11項目53品目が保管されています。

### ◇救護衛生部

トイレの確保(現在、下水道直結型トイレ用マンホールが6か所設置されています)、けが人、病人への対応と健康管理、高齢者・乳幼児などの保護、避難所内の衛生管理、医療救護所の開設等の対策がとられています。

11月25日(日)には、成城学校(原町3-87)で防災訓練が行われます。お近くの方はご参加ください。

また、市谷仲之町に区立防災センターがあります。ここでは防災用品の展示や、防災に備えての相談を受けています。ご利用ください。

★新宿区立防災センター  
市谷仲之町2-42  
毎週火曜休館  
TEL5361-2460

## 地域の史跡探訪② 宗参寺 山鹿素行の墓

12月14日といえば、ご存知、赤穂浪士47人が吉良邸に討ち入り、主人浅野長矩の敵、吉良上野介義央に復讐した日です。映画、あるいはテレビで見えるお馴染みの場面は、火事装束に身を固めた赤穂浪士二行が、吉良邸の前に集合し、大石内蔵助良雄の打ち鳴らす「ドーン・ドーン・ドーン」という陣太鼓の音を合図に、斉に行動を起こす勇姿です。このとき響き渡る陣太鼓の音が山鹿流だと言われています。

山鹿素行は播州赤穂藩に仕えた江戸前期の兵学者、儒学者で独自の山鹿流と呼ばれる兵学を完成させた人です。

兵学者として「武教要録」、「武教全書」などを著し、儒学者として「聖教要録」、「武家事紀」その他多くの著書完成了しました。

素行を尊信した平戸藩主松浦鎮信や弘前藩主津軽信政などによって、兵学の面が江戸末期まで継承されました。

宗参寺は、天文13年(1544年)牛込城主、牛込勝行により創建されたもので、江戸開府以前からあった区内屈指の名刹です。徳川時代、境内拝領地は、七千三百坪(後楽園球場の約2倍)もありました。



山鹿素行(やまがそこう)兵学 儒学者  
生年 元和8年(1622年)8月16日  
没年 貞享2年(1685年)9月26日  
雲居山宗参寺(国指定史跡)  
新宿区弁天町1番地

漱石生誕百四十年  
特別記念講演

# 秋の日 漱石三昧



●日 時：10月27日(土) 午後1時半開演(1時開場)

●会 場：紀伊國屋サザンシアター  
(高島屋タイムスクエアビル新宿南店7階)

●入場料：1500円(全席指定)

●内 容：講演「漱石山房の人々」小森陽一  
落語「唐茄子屋」桂石團治  
朗読「虞美人草」熊澤南水

●問合せ：漱石山房を考へる会事務局  
TEL3207-9575

(土)・祝日を除く午前10時〜午後6時

ホームページ <http://www.souseki-sanbou.net>

## 漱石ゆかりの

# 早稲田界隈を歩く

新宿歴史博物館の史跡ガイドボランティアの解説による史跡めぐり。漱石誕生の地であり、終焉の地でもある早稲田界隈の主な文化財を探索します。

●日 時：11月24日(土)午後1時〜3時

●参加費：4000円

●定 員：100名

●申込方法：往復はがきで「往信の裏面」に

①講座名：歴史文化探訪②住所(在勤者は勤務先)  
③氏名(ふりがな)、同伴される方の氏名④年齢⑤性別⑥電話番号と返信の表面に住所、氏名を書き、11月13日(火)までに〒160-0008新宿区三栄町22 新宿歴史博物館までお送りください。

\*下記ホームページからの申し込みも受け付けます。  
\*応募多数の場合は抽選

●主 催：新宿歴史博物館 TEL33359-2131

ホームページ <http://www.regasu-shinjuku.or.jp/shinjuku-rekihaku.html>

牛込二中

# 開校六十周年

牛込第二中学校副校長 沼田浩紫

今年度、牛込第二中学校は、昭和22年以来開校六十周年を迎えます。この間一万三千二百九名の卒業生を輩出してあります。学校では開校六十周年記念式典を11月16日(金)に行います。

9月29日(土)には六十周年記念運動会を行い、10月27日(土)には六十周年記念学芸発表会を行います。牛込二中の大きな行事ですが、六十周年ということにさらに盛り上げ良い成果を上げたいと考えています。地域の皆様にはぜひご来校いただき、牛込二中の姿を、高覧ください。

六十年を振り返ると、スタートは都立第四高等学校に併設、翌年早稲田小学校南校舎に移転、昭和26年7月に現在の地に新校舎完成、今に至っています。戦後の復興期からさまざまな社会の変化に伴い学校も変わる中、地域に支えられた学校の姿がありました。今後も地域の学校として生徒のよりよい環境づくりにご協力お願いいたします。

# スポーツ交流のお知らせ

スポーツの秋、ビーチボールバレーを楽しみましょう。初心者には基本から指導します。申し込みは不要です。気楽にご参加ください。  
\*年内に2回開催します。

●日 時：①11月4日(日) 午前10時〜正午  
②12月2日(日) 午前10時〜正午

●会 場：①早稲田小学校 体育館  
②牛込第二中学校 体育館

●参加費：各回とも1000円(保険代含む)

●主 催：牛込第二中学校区スポーツ文化協議会

# 榎地区協議会からの お知らせ

「早稲田・まちづくり学」今後の講座

★第6回11月13日(火)

「地球環境、温暖化対策とその実践の手法と事例紹介」  
★第7回12月11日(火)

「榎地区の復興まちづくりを考える」  
どちらも榎町地域センター3階大会議室 6時半〜

「榎ふれあいデー」今後の予定 第4分科会  
毎月第一日曜日、早大通りで開催しています。

★11月4日(日)午後1時〜4時

①インラインスケート(お待たせしました！大好評のインラインスケートが再登場です)

②みんなで歌おう♪(大人も子どもも気持ちよく歌える童謡や懐かしい歌ばかりです)

③南京たますだれ(小粋な芸を教えてもらえます)

④お絵かき

★12月2日(日)午後1時〜3時  
①クリスマスツリー作りと豪華！夢のクラフトケーキ作り(どんなもの?)

②折りがた(お正月に使えるポチ袋や箸袋などの小物が作れます)他にも当日までナイショのお楽しみがあるかもしれません！

★1月6日(日)午後1時〜3時

①獅子舞(太鼓と舞の妙技に手作り皿回し)

②作って揚げよう「願いタ」

③お正月遊び(大人には懐かしく子どもには新鮮な遊びがいっぱい♪)

④甘酒その他のおめでたい出し物もありそうです。

★「榎ふれあいデー」にご協力いただけるボランティア「ふれあいサポーター」に登録しませんか?  
ホームページをご覧ください。

榎ふれあいデー ホームページ <http://www.enoki.2bx.bz/>



# 地域センターからのお知らせ

## 第5回 榎町地域センターまつり

●日時……10月28日(日) 午前10時～午後4時  
●会場……榎町地域センター全館

## 年忘れカラオケ大会出場者募集

●日時……11月18日(日) 午前10時～  
\*定員になり次第、終了させていただきます。

●定員……72名  
●参加費……3000円

●受付……榎町地域センター3階  
工芸美術室・調理室

\*10月18日(木)より榎町地域センター2階事務局に  
申込書を設置します。

## 年忘れカラオケ大会

●日時……12月16日(日) 午前10時～午後4時  
●会場……榎町地域センター4階 多目的ホール

\*出場者以外の一般の方も来場ください。

## 第4回 新春えのき寄席

●日時……平成20年1月13日(日) 午後3時～5時  
●会場……榎町地域センター4階 多目的ホール

●入場料……1000円  
●出演……橋家圓太郎ほか

\*11月初旬に掲示されるポスターをご覧ください。

## 郷土の文豪「夏目漱石」を学ぶついで

●日時……平成20年1月27日(日)  
午後1時開場 1時半開演

●会場……榎町地域センター4階 多目的ホール  
\*入場は無料です。

●内容講演……夏目漱石が活躍した時代背景  
漱石の作品紹介と解説

紙芝居 郷土の文豪 夏目漱石物語  
映画上映「坊っちゃん」

●共催……特定非営利活動法人 漱石山房



## 榎地区青少年育成委員会

### 第18回ふれあいウォークラリー 川の流れるまちを歩こう

ご家族、お友達と一緒にウォークラリーのゲームに  
参加してみませんか。

●日時……10月21日(日) 午前8時半～午後1時半  
●会場……榎町地域センター4階 午前8時半集合

●参加費……大人200円 高校生以下は無料  
●申込み……榎町特別出張所 TEL3202・2641

2～5人のグループでお申し込みください。  
●共催……榎町特別出張所



### 第8回わくわく何でも体験 牛込二中 オバケえんにち

8月26日(日)の夏休み最終日、牛込第二中学校にて「牛  
込オバケえんにち」が開催されました。

猛暑の中、企画から準備、実施までを80名の中学生が力  
を結集して行いました。ポスターのデザインは「中生、色塗  
りは榎町児童センターの子どもたちが担当し、見事な連携  
プレーで宣伝効果は抜群でした。そのかいあって、来場者、  
スタッフの総勢は296名となり、大盛況でした。

児童センター協力の「うちわ作り」は暑さ対策に大人気  
で自作のうちわを片手にゲーム、オバケ屋敷にチャレンジ。  
「オバケ屋敷」の悲鳴は冷気に、恐怖は冷却剤になりました。  
ゲームでポイントを貯め、スイカ割り、ヨーヨー、ポップ  
コーン、ソース煎餅をゲットし、みんなニコニコ顔でした。  
「スイカ割り」は周りの観衆の声援にチャレンジヤーがアタ  
フタする場面もあり、爆笑の中、見事割れたスイカをみん  
なでおいしくいただきました。

親子、兄弟、友達同士での参加が多い中、二中の卒業生の  
参加もあり、中学生パワーを更に盛り上げてくれました。  
中学校を中心に地域の交流の輪が大きく広がった一日で  
した。夏休み最後の楽しい思い出です。中学生の皆さん、最  
後の敏速な後片付けはお見事でした。お疲れさまでした。

### 第15回榎地区小学校対抗 ドッジボール大会

●日時……11月25日(日) 午前9時～正午頃  
●会場……鶴巻小学校 体育館と校庭

\*牛込仲之、江戸川、鶴巻、早稲田小学校の児童が参加  
して小学校対抗試合を行います。

\*選手募集のお知らせ(申込書)は10月下旬に各学校  
から配布されます。

●共催……榎町特別出張所